

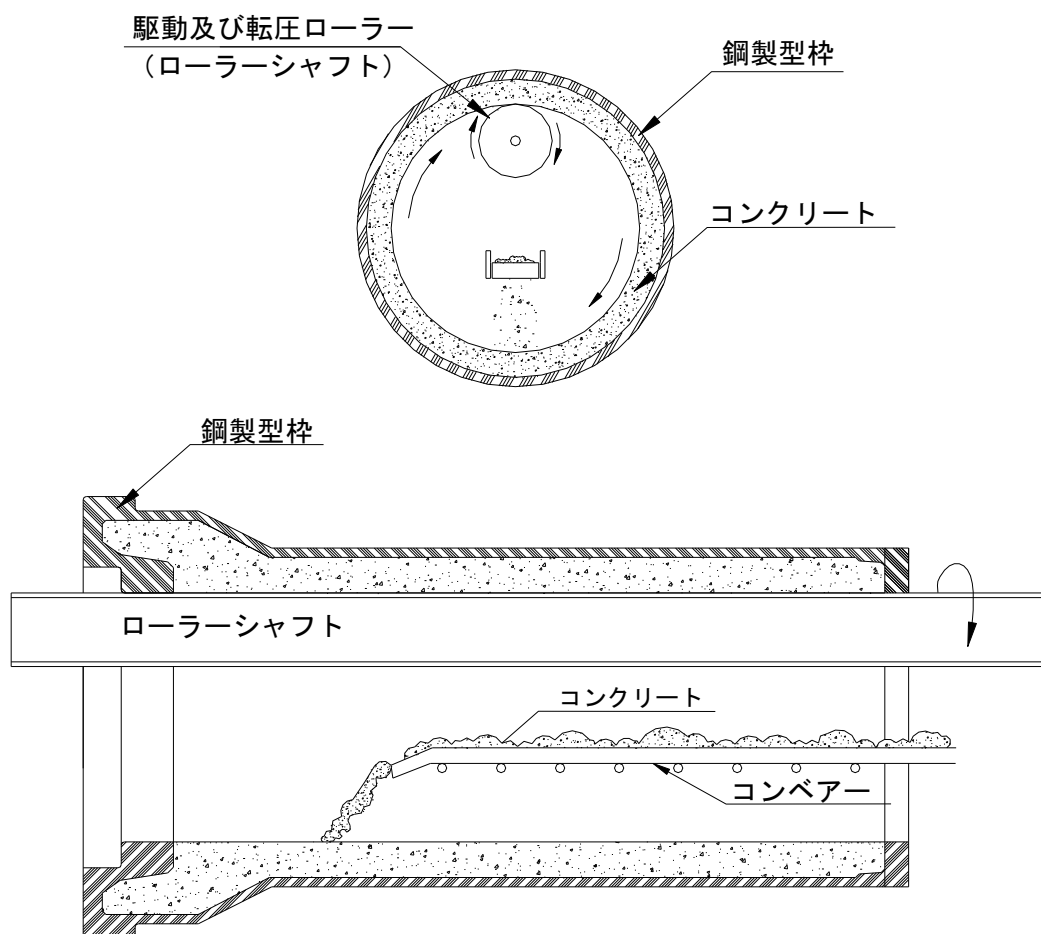
ロール転圧とは

当社で製造していますヒューム管（内径φ600以上）の製法は、広く一般的に採用される、遠心力利用による製法とは異なるもので、ロール転圧方式を採用しております。

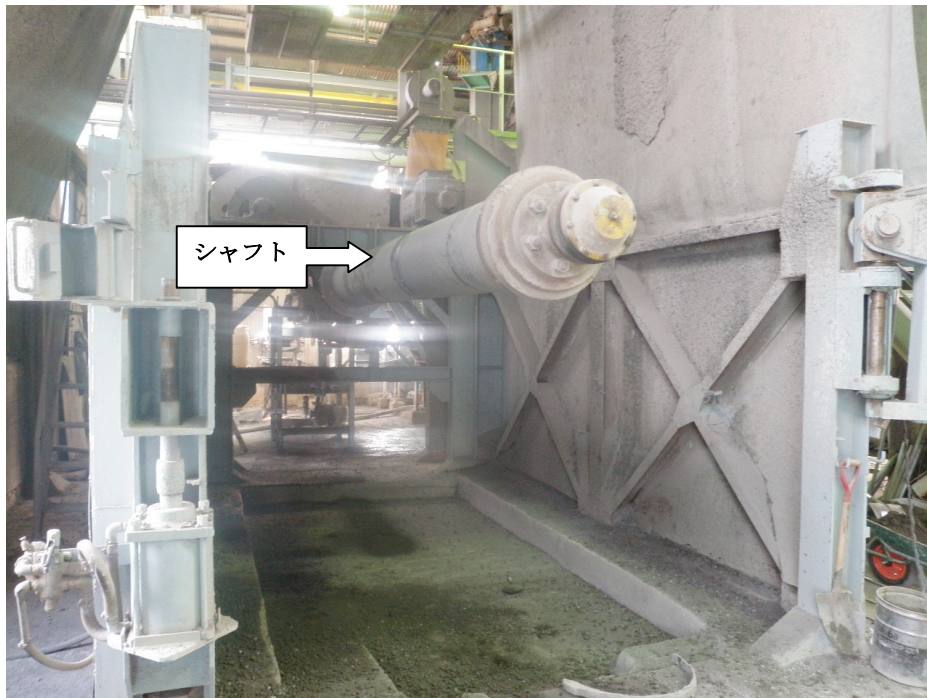
遠心力製法は高速回転する型枠の中にコンクリートを投入し、回転によって生じる遠心力にてコンクリートを締固めるものですが、ロール転圧製法は、鋼製型枠をローラーシャフトにぶら下げ、そのシャフトを回転させることによってその回転力を型枠に伝達し、回転する型枠の中に、水セメント比 25～28%の超硬練りコンクリートをベルトコンベアーで投入し、シャフトと型枠の間で衝撃などを伴った強烈な転圧を与えて締固める製管法であります。

よって、管全体のコンクリートが均質緻密に成形されるため、強度と水密性のきわめて高いヒューム管を作ることができます。

ロール転圧製法概略図



ローラーシャフト



転圧（締固め）状況 1



転圧（締固め）状況 2

